


令和2年度 福井県白川文字学ゼミ講座一覧

日 時	講 師	内 容	会場・定員
第1回 令和2年 11月22日(日) 10:30~12:00	共同通信社編集委員兼論説委員 小山 鉄郎 氏 	「漢字は“歴史の通路”」 漢字は物語のようにつながっています。白川静さんが解き明かした漢字の体系的な世界を紹介します。“歴史の通路”である漢字の面白さについて一緒に学びましょう。	【福井市】 福井県立図書館 多目的ホール 50名
第2回 令和2年 12月15日(火) 14:00~15:30	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所客員研究員 高島 敏夫 氏 	「甲骨文(卜辞)を読むー卜辞から見た婦好(王妃)像」 王の妃に関する卜辞を読みます。中でも武丁妃の婦好はその墓が盗掘を受けずに発見されたことにより、随葬品の全貌が知られ、殷墟文化の研究が大きく前進するきっかけになりました。考古学の話も交えて殷代の歴史と文化への理解を一層深めて頂きます。	【敦賀市】 敦賀市立図書館 研修室 30名 ※甲骨文を描くための筆記用具・ノート等をご用意ください。
第3回 令和3年 1月26日(火) 14:00~15:30	立命館大学文学部教授、白川静記念東洋文字文化研究所所長 芳村 弘道 氏 	「白川静の中国古代文学研究についてー『楚辞』を中心にー」 白川博士の中国古代文学研究の著作をもとに、戦国末期の楚国の祭祀歌謡『楚辞』の「九歌」について解説します。	【福井市】 福井県立図書館 研修室 25名

【お願い】

新型コロナウイルスの感染拡大を予防し、大切な人の命と健康を守るため、次のことをお願いいたします。

- ・参加される方はマスクを着用ください。
- ・入室時に手指の消毒をお願いいたします。
- ・咳エチケットの遵守、手洗いの励行についてもご協力をお願いいたします。

※定員になり次第、締め切ります。